

令和5年4月～令和6年3月 いきものガイドウォーク(全10回)

月	日	担当	観察内容	写真1	写真2	コース図
4	22	二宮 芳野	<p>テーマ：「新緑の木と花」 天候：曇り 参加者：15名 昨日の暑さによって変って、曇りで肌寒い朝でした。それでも、航空公園には多くの来客者がいました。南駐車場は満車で入れず、東駐車場に止めることに成りました。 二宮氏の名解説で、ノダフジ、ミズキ、イチヨウ、ユリノキを解説、 ギョイコウは半分くらい花弁が落ちていました。その後、日本庭園に行き、筍に養分を捕られた竹が茶色に色付いていました。 「竹の秋」の季語を説明いたしました。少しハードな行程でしたが、皆さんに満足して頂けたようです。</p>	 <p>野田藤</p> <p>「のだふじ」は今から約600年前からその美しさで知られ、室町幕府二代将軍・足利義詮（よしあきら）が詠んだ歌が有名で野田（大阪市福島区）の地名が全国的になったと言われています。「吉野に桜・野田の藤・高雄の紅葉」は三大名所と言われます。樹齢1200年を超え、天然記念物に指定されている埼玉県春日部市の「牛島に藤」もよく知られています。</p>	 <p>イチヨウ</p> <p>イチヨウ科イチヨウ属の落葉樹。秋の紅葉や茶碗蒸しに使う銀杏で馴染み深く、公園、学校、街路、社寺等に植栽される。約2億年前の中世代ジュラ紀に栄え、現在まで種を絶やさずに続く歴史の長い木だが、その仲間の多くは恐竜と共に氷河期に絶滅し、現在のイチヨウ科の木はこれしかない。このためイチヨウはメタセコイヤと共に「生きた化石植物」と呼ばれます。</p>	
5	27	佐藤 渡辺	<p>テーマ：公園を彩る自然の『色』～色にまつわる色々な話～ 天候：晴 参加者：9名 彩り多いこの時期、テーマを『色』に設定。色の見え方、色素、色素の役割、色素の利用（染料）などについて植物を観察しながら解説しました。 <観察した主な植物> ヤマグワ、サツキ、ピラカンサ、モッコク、ミズキ、ヤマハゼ、アジサイ、ヤマボウシ、サンゴジュ、クチナシ、ヤゼウツボ、シャリンバイ、ヤグルマギク、ラベンダー、セキショウ、シラカシ、スダジイ</p>	 <p>葉っぱはなぜ緑色？（写真はトチノキ）</p>	 <p>自然界では何色の花が多いでしょう？（写真はヤマボウシ 花びらに見えるのは苞）</p>	
6	24	松本 河野				
9	23	久保 善宝				
10	28	辰尾 毛利				
11	25	鈴木				

12	16						
1	27						
2	24						
3	23						